

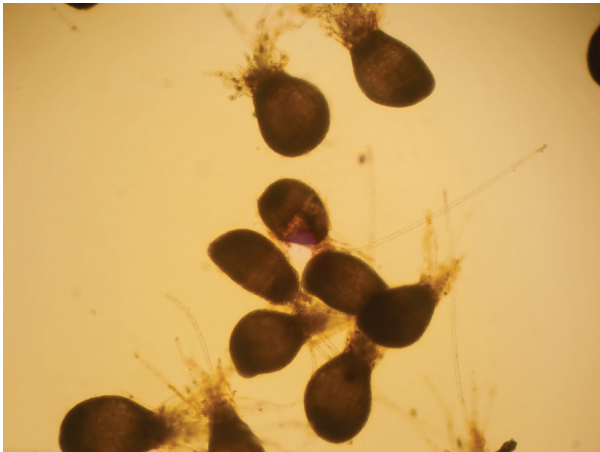
養殖アカモクの種苗生産が始まりました

海洋センターでは、漁業者に配布するアカモク養殖用種苗の生産とともに、効率的な種苗生産や養殖のための技術開発に取り組んでいます。令和6年度は種苗数5万本の生産と、種苗生産時における光条件が種苗の成長にどのように影響するか検証する予定です。

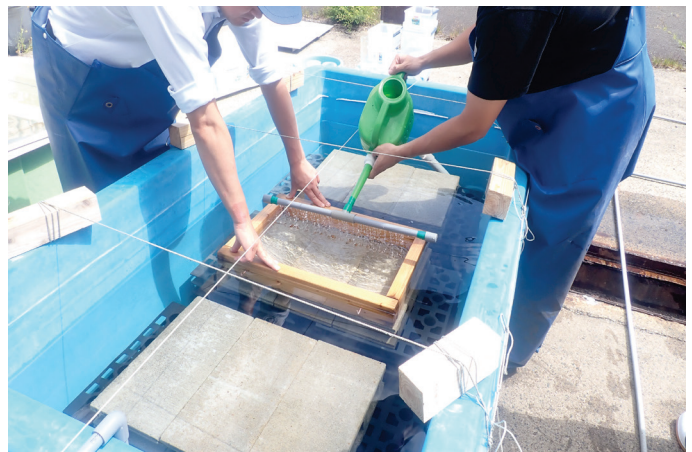
5月29日に冷蔵保管していたアカモク幼胚^{はしゅ}※を播種しました。この作業の開始から、漁業者に配布する9月下旬までアカモクの種苗生産は続きます。

また、種苗の歩留まりを向上させるロープなど、これまでの研究で得られた結果を漁業者に普及することで、安定した養殖生産が行われるよう、取組を進めます。

※幼胚：陸上植物における種のこと



種苗生産開始時の幼胚



アカモクの幼胚の播種風景